

6年生 「おでかけまほろん」を体験しました



【土器も時代により変遷しています】



【本物の熊の毛皮はすべすべ、なめらか】



【集中力、持久力を発揮して回す回す】



【火種を振り回して、大きな炎へ】

4月27日（水）県文化財センター白河館からお二人の学芸員、小暮さん、柿沼さんをお迎えして「おでかけまほろん」の学習を行いました。始めに「本物の土器や石器にふれてみよう」の体験では、縄文・石器・江戸時代の土器にさわって土器の厚さや模様の違いに気づきました。常葉小学校の付近から出土した土器も見せてもらいました。江戸時代の土器の内側は墨で塗られていて、水漏れを防ぐ役割をしていたそうです。ろくろで作ってあり、形も整っていました。縄文時代の土器は文字どおり縄で模様を付けた物の他、貝殻で模様を付けた物もありました。縄文時代の弓矢、やじり、石器なども見せてもらいました。30cmの丸太を石おので切るためには、300回も打ち下ろさなければならなかったそうです。次に「火を起してみよう」の体験をしました。縄文時代の人々は「もみぎり」という方法で火を起していましたが、今回は江戸時代に使っていた「まいぎり」という道具を使って火起こしに挑戦しました。摩擦熱を利用しての火起こしです。最初は木の軸をゆっくりゆっくり回して煙を起し、煙が出たら、今度は猛スピードで回して木くずに火の赤ちゃんを作ります。そして、その火の赤ちゃんを椰子の皮を細く薄く裂いたようなほわほわした繊維で包み振り回して空気を送ると、「ぼわっ」と炎が起りました。「煙が出ました～～」「火が起きました～～。」と、子ども達の歓声が聞こえてきました。現在ではワンタッチで着火できることも、大昔にはたいへんな作業であったことを実感することができました。

- 5年「スポーツ笑顔の教室」
6月20日（月）講師未定
- 4年「エネルギー出前講座」
5月24日（火）講師：東北電力郡山営業所

※内容 暮らしと電気、電気をつくってみよう、電気が家庭に届くまで 他

体験的な学習活動の予定

4年生社会科見学常葉分署

4月26日(火) 4年生は田村消防署常葉分署へ社会科見学に行ってきました。行き帰り徒歩で移動することから、常葉地域学校支援本部事業の白岩さんと鈴木さんに引率をお願いしました。

常葉分署では消防士さんから、消防署の仕事について詳しく説明していただきました。また、実際に消防車や救急車の中の装備まで見せていただき「百聞は一見にしかず」で大変勉強になりました。常葉分署の皆様、暑い中、同行して交通安全をサポートしてくださった白岩さん、鈴木さん、ありがとうございました。



【右手を挙げて、全員で記念撮影】

運動会へのご協力よろしくお願いいたします

4月22日(金) PTA専門委員会の席上、出席された役員の皆様には運動会当日の作業と係について周知いたしました。本会役員と地区委員の皆様、各専門委員会の委員長さんと副委員長さんには、当日は早朝よりお世話になります。よろしくお願いいたします。(集合は午前7時15分です。)

役職・係	仕事の内容	学校職員	PTAのみなさん
大会副会長	PTA関係運営全般	*	半谷 さん 計1名
審判	入賞の判定	関本	専門委員会委員長 " 副委員長 計6名
賞品	賞品の授与・補助	井堀 先崎	半谷 さん 先崎 さん 計2名
準備	演技用品一切の出し入れ、整理、点検、管理 スタート及びゴール・折り返し等の表示	佐藤 佐藤	高橋 さん 各地区委員(11名) 計12名
記録	演技結果の記録 得点の集計と記録 得点板の操作 写真撮影	伊藤	平澤 さん(得点板) 浦山 さん(得点記録) 広報委員さん3名(写真記録) 計5名
受付 接待	招待者の受付・接待・案内・記章装着等	菅野 先崎	白岩 さん(救護も含む) 鎌田 さん 計2名

PTA学年対抗種目にご協力お願いします

学年委員長の皆様、運動会のPTA学年対抗種目「とんで曲がってバッチグー」(毎年恒例の学年対抗折り返しリレー競技)の参加者を10人確保をお願いします。各学年の保護者の皆様、参加にご協力ください。



いよいよ5月…そして3連休!

早いもので4月が終わり昨日から5月です。明日からはゴールデンウィーク後半の3連休に入ります。楽しい計画を立てておられる方が多いことかと思いますが、心配されるのは事故やけがです。担任より各クラスで事故防止の事前指導をしておりますが、有意義で安全に過ごすために、さらに行楽に出かける際の注意等について補足させていただきます。

- 子ども第一で無理のない計画を・・・。(連休明けに疲れが残らないよう)
- 出かけなくても親子、家族でふれあう活動はいかがでしょう。
・読書 ・ものづくり ・ガーデニング ・お手伝い ・近隣の史跡巡り
- 旅行、外出の際は安全運転の励行、シートベルトの着用。
- ※ お子様の自転車乗りには、必ずヘルメットを着用させてください。
- ※ 事件に巻き込まれないよう、目や手を離さないなど細心の注意を!
- 健康管理(手洗い、うがい、十分な睡眠時間)



☎ 77-2038